

## 陳情・請願・意見書

陳情書名 陳情提出者	要 旨	●付託委員会 ○委員会の討論 【委員会の結果】	【本会議の結果】
<b>小方小学校移転跡地に「公園」設置陳情</b>  小方一丁目南自治会 会長 飯森 仁志 ほか2団体	①地区自治会の各種イベントが出来る広場であること ②幼児～高齢者までが利用できる広場であること ③小方小学校跡地としてのモニュメントを設置すること ④災害対策本部が設置された際の第2次避難場所の新規指定	●小方地域まちづくり対策特別委員会  ○「旧小方小・中学校跡地の利活用の動向（現在発注の小方地区まちづくり基本構想）を踏まえて審査する必要がある」  【継続審査】	【継続審査】
<b>港町ポンプ場の移転までにおける対応についての陳情</b>  港町一丁目自治会 会長 小幡 哲雄	今秋オープン of 株式会社コメリの開店後について、車の渋滞が予想される。については、当自治会の案であるが、港町ポンプ場が移転すると渋滞は大分緩和されると思う。平成24年開催の地区懇談会の時に移転は岩国大竹道路の工事と合わせてになるとの土木課の回答であったが、大林組の敷地側道路を広くして、車の通り抜けを検討するとの話もあった。現在、大林組はここを使っていないので、応急的に検討して頂きたい。	●生活環境委員会  ○「大型商業施設開店後の交通状況を踏まえて審査する必要があるため」  【継続審査】	【継続審査】
<b>晴海臨海公園整備事業における多目的ゾーン等を整備することを求める陳情</b>  大竹市立戸一丁目6番1号 大竹市総合型地域スポーツクラブ 会長 冷泉 洋治	体力・健康づくりへの関心の高まりを背景にスポーツに親しむ市民が増えてきている中、晴海臨海公園整備事業の第1期工事により、スポーツゾーン及びシーサイドゾーンの一部が完成し、テニスや野球等が盛んに行われています。 子どもから高齢者まで、スポーツや健康づくりを通じて、豊かで活力のある生活を実現するための環境づくりとして、引き続き多目的ゾーン等についても着工していただき、整備して下さるよう、よろしくお願いたします。	●生活環境委員会  ○「早期に整備をしてほしいとの市民の思いが今回の陳情へとつながったと思う。多額の費用を要するが、市民にとっては夢であり陳情の趣旨は十分理解できる。」 ○「整備には多額の費用を要することになり、本市の財政状況を考慮すると他にも取り組むべき日常生活に関する課題などがあるものと考え。」  【採択】	【採択】

### 本会議での討論 —晴海臨海公園事業における多目的ゾーン等を整備することを求める陳情—

【反対】「陳情の趣旨はよくわかるが、耐震性のない公共施設の整備や新町ポンプ場の完成など市民の安心安全のための事業をしてほしい。莫大な費用を要する早期の公園整備陳情には反対せざるを得ない」

【賛成】「多くの市民が早期の整備を待ち望んでいる。また、公園の整備は、未来を見据えた子どものため、高齢者の健康増進にも寄与すると思われるため賛成」

#### 政務活動費の公開について

平成 27 年度分（9 月～ 3 月の議員分）政務活動費収支報告書を市ホームページで公開しています。

【大竹市HP→市議会のページ→政務活動費】

領収書については情報公開の手続きが必要となりますのでご了承ください。

詳しくは、大竹市議会事務局までお問い合わせください。